

令和8年度 八王子市立小宮小学校 学校経営計画

校長 石川 真一

学校教育目標

かしこい子(自主的・意欲的に考え実践する) 仲たかな子(思いやりの心もち表
現する) ◎みんなと仲よくいきぬく子(自分を生かし友だちと協力し合う) たくましい子(強い意志と丈夫な体もち行動する)

ビジョン

心の教育の充実を土台に「夢をかなえる学校」を創る

1.目指す学校

○すすんで考えを伝え互いの考えを大切にする。

○心が豊かに成長するよう保護者・地域と協力する土台を構築する。

○心と体を大切にする。

2.目指す児童像

○主体的に学び考えを伝え合う子

○「すなお」な気持ちを育成し、やさしい言葉で伝え合う子

○すすんで運動する子

○あきらめず努力する子

○「生命の尊さ」を核とした心の教育の充実を図る。

○危険を予測し、安全に行動する子

○すきなことを見つけ夢やあこがれをもつ子

○「いじめない力」を高め、友達を大切にすること

○自分も友達も大切にすること

○みんなのために活動する子

3.本校の現状と課題

・主体的に学び、自分の考えをすすんで伝えることに課題がある。

・相手の考えを受け止め、合意形成を図ることに課題がある。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	評価
学習指導	・算数科では、主体的に学習し、基礎・基本の定着を図る。	・学習規律を身に付け、導入を工夫し主体的に学ぶ授業を実践する。 ・計算ドリルやプリントを活用し、前の学年までの定着を図る。	・「話を聞く」に雰囲気をつくり、学習規律を身に付ける。 ・授業の導入を工夫し、「学びたい・知りたい・調べたい」と思える授業を積み上げる。 ・既習事項を活用し、個で思考する時間を確保し、必要感をたせ伝え合う。 ・四則計算の定着を図るため、プリントやミライシードを活用し個に応じた学習をする。	
	・国語科では、自分の考えをすすんで伝える力を高める。	・思考する時間や振り返りの時間を確保し、考えを伝え合う。	・物語文や説明文の学習では、叙述を基に思考し考えたことを伝え合う。 ・ペアや小集団を活用して自分の考えをすすんで伝え自信をもたせる。 ・学習課題を明確にし、主体的・対話的な学びを意識し、「何を学んだか」振り返りをする。	
心の教育の充実 (重点)	・特別活動の充実を図り、自己肯定感・自己有用感を育成する。	・学校行事や話し合い活動等を通して、協力しながら自分らしさを発揮する。	・学校行事やクラブ活動など最高学年として見通しをもち、リーダーシップを発揮し達成感を味わわせる。 ・話し合い活動では、互いの考えを尊重し「意思決定力」「合意形成力」を高め行動する。 ・委員会活動は、自主的に運営し創意ある取り組みを行う。 ・文化祭では、友達と協力しながら表現する楽しさを味わわせる。	
	・互いを尊重する心情を養う。	・内容項目に迫る、道徳の授業を積み重ねる。 ・「いじめない力」を高め、安心して安全に過ごせるようにする。	・本音で伝え合う道徳の授業を積み重ね、学んだことをすぐ行動しようとする「動徳」を目指す。 ・「生命の尊さ」を核とし、自分も友達も大切にすることを意識し言葉遣いや伝え方に気を付ける。 ・「いじめない力」を全校朝会で校長が発信し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。	
体力向上・保健指導	・すすんで運動に親しむ。	・体力・健康の保持増進ため季節に応じた教育活動を充実する。	・体育の授業では、カード等を活用し、主体的に運動する。協力して運動する楽しさを味わわせる。 ・水泳の学習等、安全に運動する場を工夫する。けがをしないよう用具や器具の使い方を指導する。 ・体力調査結果を踏まえ、握力やソフトボール投げの取り組みを計画的に行い体力向上を図る。	
	・感染症予防を意識し、心身ともに健康に成長する意識を育む。	・感染症や熱中症にならないよう、自分で考え行動する。	・感染症が流行しそうな時は、手洗いを励行し自分だけでなく友達への健康にも気を配って行動する。 ・熱中症にかからないようWBGTも活用し、子供たちが安心して学校生活が過ごせるようにする。 ・健康の大切さを学び、規則正しい生活習慣を身に付けられるよう家庭と連携を図っていく。	
保護者・連携と地域と	・保護者・地域の協力を得ながら、開かれた学校づくりを目指す。	・教育活動の様子を保護者・地域に発信し、協力体制を構築する。	・「こみつきい」(特別支援教室)を本校の強みとし、他者とのかわり方を学び自分の気持ちを伝える。 ・学校公開や学校行事を通して、学校や学級の様子を保護者・地域に知ってもらう。 ・交通事故や情報事故(SNS)に遭わないよう保護者・地域の協力体制を構築する。	
	・地域と共に「心の教育」の充実を図る。	・心の教育を地域にも発信し、保護者・地域の協力を得て取り組む。	・「言葉遣い・あいさつ」など、保護者会や学校だよりで発信し協力体制を構築する。 ・学校運営協議会では、学校の状況報告や学校行事の実施について協議し、学校の応援団として計画的に教育活動が実施する。	
進路指導等	・小中一貫教育の充実を図る。	・児童・生徒の交流を図り、教員相互も連携し、児童の円滑な接続を図る。	・小中一貫教育の方針を踏まえ、石川中学校グループ3校と連携し、教員同士の情報交換も行きながら中学校への円滑な接続を図る。 ・小中一貫意見交換会など自分の思いや考えを整理して伝える児童を育成する。	
	・主体的に活動し、キャリア教育を推進する。	・地域の人材を活用し、キャリア教育の充実を図る。	・「KDD(子どもたちだけでできる)」を合言葉に、調べたことを自分の言葉で伝える。 ・外部講師と連携し、プログラミング教育の充実を図り、自己の考えを表現する。 ・総合「未来へ これからの私たち」の学習で、「プロから学ぶ」取り組みを行い、望ましい職業観を育み、中学校の職場体験につなげる。	

|

|